

東京都立多摩総合精神保健福祉センター
依存症家族教室

令和7年度 第2回公開講座 「依存症と医療の役割」

アルコール依存症は、飲酒のコントロール（制御）が困難になる病気です。
一般的には長期間の多量飲酒がもとで、次第に飲酒の制御が困難となっていき、身体的、精神的、社会的問題や悪影響が出て飲み続けてしまいます。
今回、アルコール依存症の治療に携わっていらっしゃる、精神科医の久江 洋企先生をお招きし、依存症が心身に与える影響や治療について、及び家族の関わり方について、事例を交えてお話しいたします。
依存症について理解を深め、ご家族が依存症のご本人に接する際の心構えを知る機会として、是非ご参加ください。

日 時： 令和7年7月1日(火) 14:30～16:00

場 所： 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 1階 研修室

講 師： 社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院

副院長 久江 洋企先生

対 象： 多摩地域に在住で、依存症について困っておられるご家族等、
及び関係機関職員

問い合わせ・申込み先： 広報援助課 相談担当

◆5月21日(水曜日) 午前9時30分から申込受付を開始いたします。

◆お電話の場合 042-376-6580まで（月～金 9:30～17:00）

◆メールの場合 tamasou_kouza@section.metro.tokyo.jp まで

（以下をご記入ください。受信専用アドレスのため、申込受付の返信はいたしません。人数の関係等でお断りする場合や中止等の際には電話でご連絡いたします）

件名	第2回依存症公開講座
本文	①7月1日 依存症と医療の役割 ②お名前 ③連絡のつく電話番号 ④お住まいの市町村（一般都民の方）、又はご所属（関係機関の方） ⑤当センターに相談したことがある・ない